



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場取引所 東

上場会社名 ネットン(高周波熱錬株式会社)

コード番号 5976 URL <http://www.k-neturen.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 福原 哲一

問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 青井 隆明

TEL 03-3443-5441

四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日

配当支払開始予定日

平成24年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	22,453	1.9	2,116	△3.2	2,267	△2.6	619	△48.5
24年3月期第2四半期	22,027	22.1	2,186	68.9	2,326	58.7	1,201	32.2

(注)包括利益 25年3月期第2四半期 1,085百万円 (△32.6%) 24年3月期第2四半期 1,610百万円 (307.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第2四半期	14.52	—
24年3月期第2四半期	28.18	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	%	百万円	%	%
25年3月期第2四半期	67,205		52,386		72.9
24年3月期	66,785		51,311		72.4

(参考)自己資本 25年3月期第2四半期 48,963百万円 24年3月期 48,369百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	6.00	—	8.00	14.00
25年3月期	—	5.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	45,000	0.8	3,800	△9.7	4,200	△6.0	1,600	△32.3	37.54

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期2Q	44,713,930 株	24年3月期	44,713,930 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

25年3月期2Q	2,090,725 株	24年3月期	2,090,529 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期2Q	42,623,330 株	24年3月期2Q	42,640,719 株
----------	--------------	----------	--------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

当資料に記載の将来に関する予測数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予測数値と異なる場合があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、緩やかな景気拡大局面に入ったと想定されますが、電気料金の値上げや電力供給への不安、円高局面の長期化などの景気下振れリスクを抱え、不安定な状況のまま推移しました。また、中国をはじめとする世界経済の成長鈍化も懸念される状況となっております。

このような状況のもと、当社グループは、第12次中期経営計画「Global Challenge 30」に掲げた、成長戦略の遂行と基盤づくり、グローバル事業の展開、人財の確保と育成等の経営課題に取り組み、経営体質の強化、企業価値のさらなる向上を図ってまいりました。

しかし、建設機械、工作機械業界からの受注量の減少、株式市場の低迷などが、当社グループの業績に影響を与えました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は22,453百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益は2,116百万円（前年同期比3.2%減）、経常利益は2,267百万円（前年同期比2.6%減）、特別損失に投資有価証券評価損を1,010百万円計上したことにより、四半期純利益は619百万円（前年同期比48.5%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

①製品事業部関連事業

当社主力製品である建設関連製品の販売量は、前年同期と比較し増加いたしました。これは主として、高強度せん断補強筋の販売が引き続き好調に推移したことなどによります。

また、自動車・二輪車用サスペンションばね等を使用される高強度ばね鋼線（ITW）の販売量も、前年同期と比較し増加いたしました。これは、主として米国での販売量が増加したことなどによります。

この結果、売上高は11,799百万円（前年同期比6.5%増）、営業利益は1,191百万円（前年同期比9.7%増）となりました。

②IH事業部関連事業

熱処理受託加工関連、自動車部品関連においては、ほぼ前年同期並みの売上高を確保できましたが、建設機械部品関連においては、中国の成長鈍化などの影響を受け、売上高は減少いたしました。

また、誘導加熱装置関連においては、受注環境が堅調に推移しており、売上高は前年同期と比較し増加いたしました。

この結果、売上高は10,611百万円（前年同期比2.3%減）、営業利益は929百万円（前年同期比13.4%減）となりました。

③その他

当該セグメントは、報告セグメントに含まれない不動産賃貸事業等であります。

当社が「オーバルコート大崎マークウエスト」に所有する賃貸用オフィスのフロアの一部が未契約となっていることなどから、賃貸収入は減少しました。

この結果、売上高は43百万円（前年同期比48.8%減）、営業損失は5百万円（前年同期は26百万円の利益）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は67,205百万円（前連結会計年度末比0.6%増）となりました。この主な要因は、株式の時価下落により投資有価証券が減少しましたが、主として海外子会社のたな卸資産や有形固定資産が増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は14,818百万円（前連結会計年度末比4.2%減）となりました。この主な要因は、支払手形及び買掛金が増加いたしました。借入金や未払法人税等が減少したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は52,386百万円（前連結会計年度末比2.1%増）となりました。この主な要因は、利益剰余金や少数株主持分が増加したことなどによります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末における自己資本比率は72.9%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の業績予想につきましては、直近の業績動向や特別損失に投資有価証券評価損を計上したことなどをふまえ、平成24年5月11日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日（平成24年11月5日）公表の「平成25年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と決算値との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

また、上記業績予想の修正をふまえ、配当予想の修正も同時に行っております。

詳細につきましては、本日公表の「剰余金の配当（中間配当）及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、予想数値は現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,028	11,253
受取手形及び売掛金	16,427	15,513
有価証券	—	201
商品及び製品	682	759
仕掛品	1,315	1,504
原材料及び貯蔵品	1,634	1,904
その他	891	2,033
貸倒引当金	△68	△67
流動資産合計	31,912	33,101
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,814	6,811
機械装置及び運搬具（純額）	7,045	8,428
土地	9,457	9,458
建設仮勘定	2,180	1,085
その他（純額）	187	260
有形固定資産合計	25,685	26,045
無形固定資産		
のれん	86	62
その他	211	217
無形固定資産合計	298	279
投資その他の資産		
投資有価証券	8,570	7,496
長期貸付金	84	68
その他	471	299
貸倒引当金	△237	△86
投資その他の資産合計	8,888	7,778
固定資産合計	34,872	34,103
資産合計	66,785	67,205

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,884	6,043
短期借入金	2,400	2,137
未払法人税等	725	404
賞与引当金	640	732
その他	4,408	4,361
流動負債合計	14,059	13,680
固定負債		
長期借入金	166	39
引当金	283	344
その他	964	754
固定負債合計	1,414	1,138
負債合計	15,473	14,818
純資産の部		
株主資本		
資本金	6,418	6,418
資本剰余金	5,528	5,528
利益剰余金	40,500	40,779
自己株式	△1,668	△1,668
株主資本合計	50,779	51,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△214	△27
為替換算調整勘定	△2,194	△2,066
その他の包括利益累計額合計	△2,409	△2,093
少数株主持分	2,942	3,423
純資産合計	51,311	52,386
負債純資産合計	66,785	67,205

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	22,027	22,453
売上原価	16,897	17,069
売上総利益	5,129	5,383
販売費及び一般管理費	2,943	3,267
営業利益	2,186	2,116
営業外収益		
受取利息	11	7
受取配当金	56	58
持分法による投資利益	172	110
その他	54	45
営業外収益合計	294	221
営業外費用		
支払利息	43	35
為替差損	76	16
その他	33	18
営業外費用合計	154	70
経常利益	2,326	2,267
特別利益		
有形固定資産売却益	0	0
投資有価証券売却益	8	0
受取保険金	—	5
特別利益合計	9	5
特別損失		
有形固定資産売却損	—	0
有形固定資産除却損	3	7
投資有価証券評価損	313	1,010
災害による損失	14	—
その他	0	104
特別損失合計	332	1,121
税金等調整前四半期純利益	2,003	1,151
法人税等	692	424
少数株主損益調整前四半期純利益	1,310	726
少数株主利益	108	107
四半期純利益	1,201	619
少数株主利益	108	107
少数株主損益調整前四半期純利益	1,310	726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△311	189
為替換算調整勘定	24	138
持分法適用会社に対する持分相当額	586	30
その他の包括利益合計	300	358
四半期包括利益	1,610	1,085
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,482	934
少数株主に係る四半期包括利益	128	150

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	製品事業部関連 事業	I H事業部関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,082	10,860	21,943	84	22,027
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	12	12	—	12
計	11,082	10,872	21,955	84	22,039
セグメント利益	1,086	1,073	2,159	26	2,186

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	2,159
「その他」の区分の利益	26
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,186

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	製品事業部関連 事業	I H事業部関連 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	11,799	10,611	22,410	43	22,453
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	64	64	—	64
計	11,799	10,676	22,475	43	22,518
セグメント利益又は損失 (△)	1,191	929	2,121	△5	2,116

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸事業等であります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益及び包括利益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益又は損失 (△)	金 額
報告セグメント計	2,121
「その他」の区分の損失 (△)	△5
四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益	2,116

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

記載すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。